

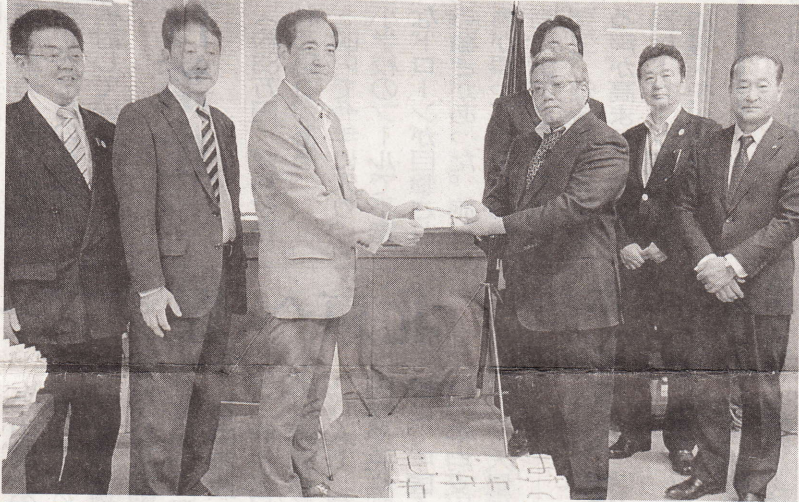
### 足立区新聞販売同業組合

## 新聞整理袋を寄付

区に5300枚

毎日新聞など新聞6社計約50店舗の販売店でつくる「足立区新聞販売同業組合」のメンバーが13日、同区役所を訪れ、区内の小中学校で活用してもらった古紙回収に使う新聞整理袋5300枚を同組合は今年4月から、学校教材事業として区内の小中学校106校に毎日、朝日、読売、産経、東京の5紙を各校1部ずつ配布している。

同組合の福田和也組  
合長から目録を受け取った定野司・区教育長



定野司・教育長（左から3人目）に目録を贈呈する足立区新聞販売同業組合のメンバー＝足立区役所で

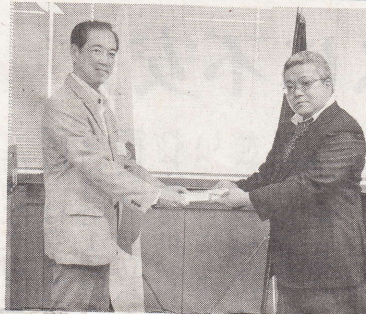
は「有効に使わせていただく。各学校で新聞を授業にどう活用するかいろいろ考えているようだ。活字から何かを学ぶ力が付けばいいなと思う」と謝辞を述べた。福田組合長は「活

字離れと言われるが、子どもたちに『活字慣れ』してほしい。新聞を読むことが学力アップにつながるればと思う」と話した。

【川畑さおり】

### 区立の小中学校に新聞整理袋を寄贈

足立区新聞販売同業組合



足立区新聞販売同業組合（福田和也組合長）は13日、同区立小中学校106校へ新聞整理袋5300枚

を寄贈した。

同組合は、学校教育で新聞を教材として活用するため、産経新聞など都内で発行されている新聞5紙を同区の区立小中学校に提供しており、各校から新聞を保管する専用の整理袋を利用したいとの要望を受け、寄贈を決めた。

区役所で行われた贈呈式では、福田組合長から同区教育委員会の定野司教育長に目録が贈られた。写真。定野教育長は「活字から何かを考える力は非常に重要で、新聞はそれを教えてくれる」と述べた。